

1986年度栗東町埋蔵文化財
発掘調査 資料集



2003. 3

栗 東 市 教 育 委 員 会

(財)栗東市文化体育振興事業団

1986年度栗東町埋蔵文化財
発掘調査 資料集

2003. 3

栗東市教育委員会
(財)栗東市文化体育振興事業団

例 言

1. 本書は、1986（昭和61）年度に栗東町教育委員会・財団法人栗東町文化体育振興事業団（当時）が実施した埋蔵文化財発掘調査について2000（平成12）年度に実施した整理調査の成果を報告するものである。

2. 現地調査は滋賀県教育委員会の指導助言を得て、栗東町教育委員会（当時）を主体として財団法人栗東町文化体育振興事業団（当時）が実施した。なお国庫補助事業および町事業の調査は栗東町教育委員会が実施した。整理事業は栗東町教育委員会の委託を受け、財団法人栗東町文化体育振興事業団が実施した。

3. 整理調査の体制は、以下の通りである。

栗東町教育委員会	生涯学習課	課 長	芝田 博孝
	文化財保護係	係 長	清水 好洋
		主 査	松村 浩
		主 事	小林 露水
財団法人栗東町文化体育振興事業団			
	埋蔵文化財調査課	課 長	仙石 龍岳
		課長補佐	平井 壽一
		主任技師	雨森 智美

4. 本書の執筆・編集は現地調査担当者の意向のもと、雨森が行った。

5. 調査内容中の調査地位位置図は、特に指定しているもの以外は全て5千分の1である。

6. 調査内容中の表にある文献の内容は本書末尾に記載した。

7. 調査内容中の出土遺物実測図は、図化した遺物の全点を掲載するものではない。

8. 整理作業参加者

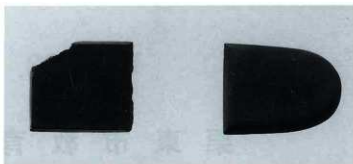
調査員	畑本 陽子	森 智美
整理員	奥村美枝子	岩根 隆子
	木村三津子	穴戸 貴子
	宮嶋八重美	

表紙の写真：竪穴住居

〔辻遺跡（86R003-03）〕

右の写真：石鈔帯

〔岡遺跡（86R104-01）〕



目 次



目 次	1
遺跡位置図	3
調査一覧表	5
1 辻遺跡 (86R003-01)	6
2 辻遺跡 (86R003-02)	7
3 辻遺跡 (86R003-03)	8
4 林遺跡 (86R009-01)	14
5 蜂屋遺跡 (86R022-01)	15
6 蜂屋遺跡 (86R022-03)	16
7 蜂屋遺跡 (86R022-02)	18
8 霊仙寺遺跡 (86R033-02)	19
9 霊仙寺遺跡 (86R033-01)	20
10 霊仙寺遺跡 (86R033-03)	24
11 中沢遺跡 (86R034-01)	26
12 安養寺古墳群 (86R041-01)	27
13 金勝寺遺跡 (86R071-01)	28
14 岩畑遺跡 (86R085-01)	29
15 坊袋遺跡 (86R090-01)	30
16 野尻遺跡 (86R088-01)	31
17 佐世川古墳群 (86R023-01)	32
18 高野遺跡 (86R092-03)	33
19 高野遺跡 (86R092-01)	36
20 高野遺跡 (86R092-04)	38
21 高野遺跡 (86R092-04)	41
22 高野遺跡 (86R092-06)	42
23 高野遺跡 (86R092-09)	43
24 高野遺跡 (86R092-07)	44
25 高野遺跡 (86R092-08)	46
26 高野遺跡 (86R092-10)	48
27 日向山古墳・龍王古墳 (86R016-01) (86R055-01)	49
28 下鈎遺跡 (86R095-05)	50
29 下鈎遺跡 (86R095-06)	51
30 下鈎遺跡 (86R095-07)	52
31 小柿遺跡 (86R100-01)	53
32 小柿遺跡 (86R100-02)	53
33 岡遺跡 (86R104-01)	54
参考文献	56

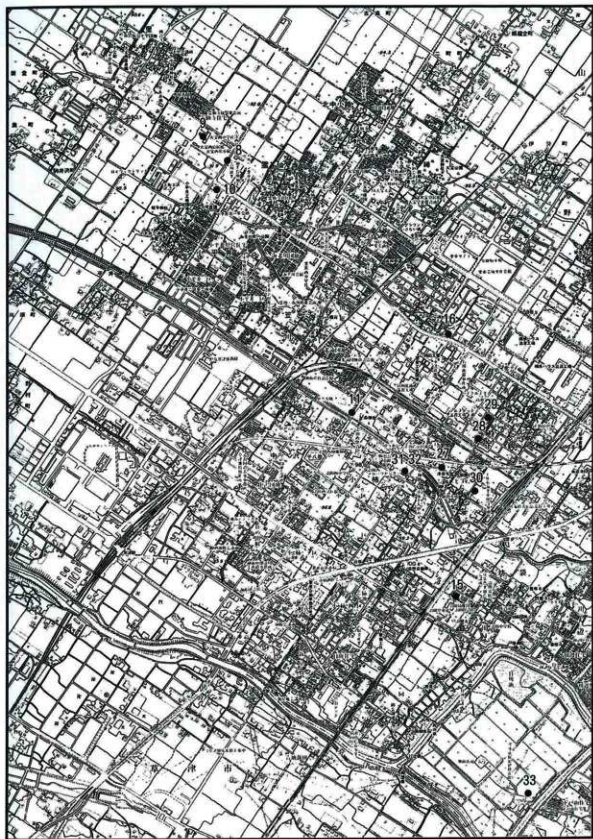
調査地位置図(1)



(※番号は5頁参照)

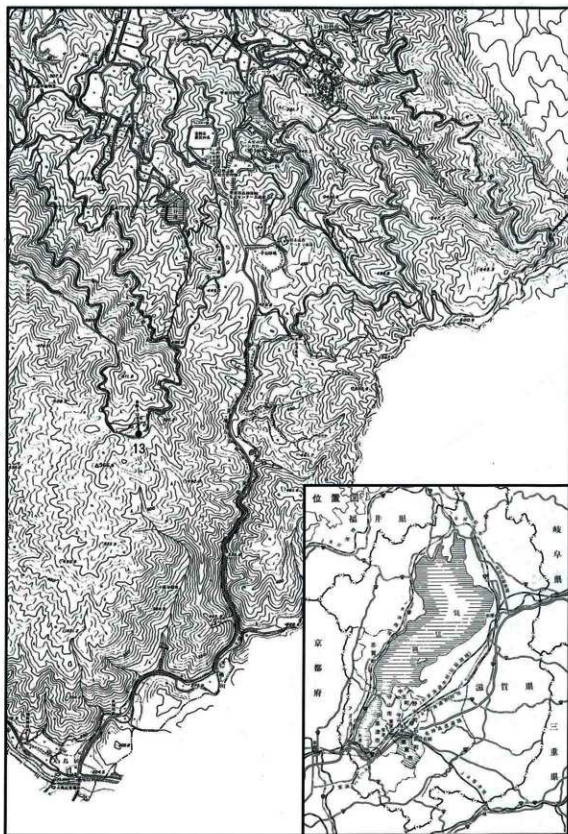
(1 : 20,000)

調査地位置図(2)



(1 : 20,000)

調査地位置図(3)



(1 : 20,000)

1986 年度 調査

番号	遺跡名	調査略号	所在地	遺構	遺物	頁
1	辻遺跡	86 R 003-01	栗東町辻字比江田466-2	竪穴住居・土坑	須恵器・土師器・灰輪陶器・近現代雑物	6
2	辻遺跡	86 R 003-02	栗東町辻字上かしあげ470	掘立柱建物・溝・土坑	須恵器・土師器・黒色土器・灰輪陶器・香石臼・鉄釘	7
3	辻遺跡	86 R 003-03	栗東町辻字南ボケ塚上527他	掘立柱建物・竪穴住居	須恵器・土師器・滑石製作関連遺物	8
4	林遺跡	86 R 009-01	栗東町林寺前167	土坑	黒色土器・石器	14
5	蜂屋遺跡	86 R 022-01	栗東町蜂屋字地蔵前886	溝	須恵器	15
6	蜂屋遺跡	86 R 022-03	栗東町蜂屋871	掘立柱建物・溝	須恵器・土師器・木簡	16
7	蜂屋遺跡	86 R 022-02	栗東町大橋2丁目3-18	—	土師器	18
8	雲仙寺遺	86 R 033-02	栗東町雲仙寺地先	流路	弥生土器	19
9	雲仙寺遺	86 R 033-01	栗東町雲仙寺166	流路・土坑	弥生土器・須恵器・土師器	20
10	雲仙寺遺	86 R 033-03	栗東町雲仙寺950-1	流路・土坑	弥生土器	24
11	中沢遺跡	86 R 034-01	栗東町中沢字川原2-3-4	溝	—	26
12	安養寺古墳群	86 R 041-01	栗東町川辺字南平134-1	古墳以外の盛り土	須恵器・土師器	27
13	金勝寺遺跡	86 R 071-01	栗東町荒張1394	ビット	土師器	28
14	岩畑遺跡	86 R 085-01	栗東町高野字岩畑727	竪穴住居	須恵器・土師器・金属器・瓦	29
15	坊袋遺跡	86 R 090-01	栗東町坊袋字杉ノ木172	流路・溝・土坑	弥生土器・石鏃・貨銭	30
16	野尻遺跡	86 R 088-01	栗東町野尻字砂田8-5	掘乱	現代	31
17	佐世川古墳	86 R 023-01	栗東町小野字谷口	自然地形	—	32
18	高野遺跡	86 R 092-03	栗東町出島字上宮・森555-1	溝・土坑・畦畔状遺構・ビット	須恵器・土師器・石器・鉄鏃・鉄鏃	33
19	高野遺跡	86 R 092-01	栗東町大橋635-5	掘立柱建物・溝・竪穴住居・櫓	須恵器・土師器・滑石製紡錘車	36
20	高野遺跡	86 R 092-04	栗東町高野字北さるがう622他	掘立柱建物・溝・流路・土坑	須恵器・土師器・滑石製紡錘車・土師器・灰輪陶器・香石臼・スラッグ	38
21	高野遺跡	86 R 092-04	栗東町高野字北さるがう622他	溝・土坑・ビット	土師器	41
22	高野遺跡	86 R 092-06	栗東町大橋一町田114他	掘立柱建物・溝・櫓	須恵器・近世陶磁器	42
23	高野遺跡	86 R 092-09	栗東町六地蔵字目取1052-3	溝・不整形落ち込み	土師器・灰輪陶器	43
24	高野遺跡	86 R 092-07	栗東町大橋字奥田4-8-3	掘立柱建物・土坑・ビット	須恵器・土師器・黒色土器・古式土師器・石器	44
25	高野遺跡	86 R 092-08	栗東町高野字イバ立188-1	流路・溝・竪穴住居	須恵器・土師器・近世陶磁器・磁石	46
26	高野遺跡	86 R 092-10	栗東町高野字下北市253	流路・溝	—	48
27	日向山古墳 龍王古墳	86 R 016-01 86 R 055-01	栗東町六地蔵・伊勢落・上砥山	古墳	—	49
28	下鈎遺跡	86 R 095-05	栗東町下鈎字高田718-4	溝	須恵器・土師器	50
29	下鈎遺跡	86 R 095-06	栗東町下鈎709	掘立柱建物・土坑	弥生土器	51
30	下鈎遺跡	86 R 095-07	栗東町下鈎字挾443-3	溝・土坑・ビット	土師器・黒色土器	52
31	小楠遺跡	86 R 100-01	栗東町小楠地先	—	—	53
32	小楠遺跡	86 R 100-02	栗東町小楠285-1・286-1	—	—	53
33	岡遺跡	86 R 104-01	栗東町岡・目川・下戸山地先	古墳・掘立柱建物・櫓・溝	須恵器・土師器・灰輪陶器・滑石製紡錘車・香石臼・スラッグ	54

1. 辻 遺 跡

(85R003-01)

ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町辻字比江田466-2 北緯 35° 02' 07" 東経 136° 00' 59"
コード	321-003
調査期間	1986年4月11日～4月30日
調査面積	70㎡
調査原因	事務所建築
調査担当	平井壽一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・生産
主な時代	古墳時代・近現代
主な遺構	竪穴住居・土坑
主な遺物	須恵器・土師器・灰釉陶器・近現代陶物関連遺物
特記事項	

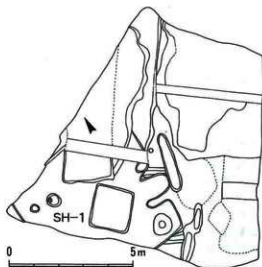


調査地全景

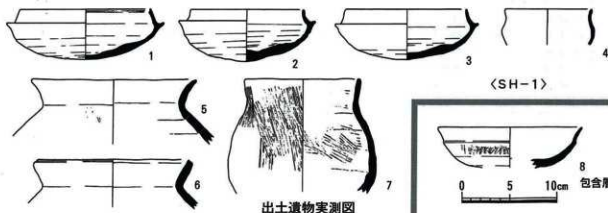


調査地位置図

この調査区からは、竪穴住居1棟および土探り土坑が検出された。竪穴住居は一辺5.5メートルを測り、東辺にカマドを持つ。6世紀前半の須恵器が出土している。土探り土坑からは、近現代の鋳物業に伴う炉壁・鋳型・スラグ等が出土している。



調査地遺構図



出土遺物実測図

2. 辻 遺 跡

(85R003-02)

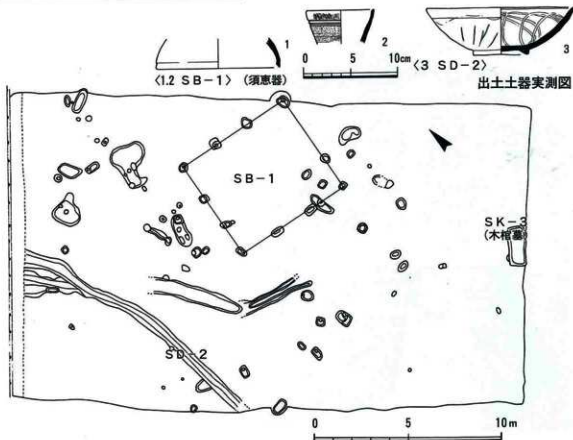
ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町辻字上かしあげ470
	北緯 35° 02' 15"
	東経 136° 00' 49"
コード	321-003
調査期間	1986年5月12日～6月14日
調査面積	450㎡
調査原因	倉庫建設
調査担当	平井壽一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落・墓
主な時代	古墳時代～中世
主な遺構	掘立柱建物・溝・土坑・木棺墓
主な遺物	須恵器・土師器・黒色土器・灰軸陶器
特記事項	



調査地位置図



調査地 遺構図



3. 辻 遺 跡

(85R003-03)

ふりがな	つじいせき
所在地	栗東町辻字ボケ塚上527他 北緯 35° 02' 07" 東経 135° 00' 58"
コード	321-003
調査期間	1986年12月6日～1987年2月28日
調査面積	3,360㎡
調査原因	店舗建設
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落・墓
主な時代	古墳時代・近世
主な遺構	掘立柱建物・竪穴住居・土坑
主な遺物	須恵器・土師器・滑石製作関連遺物・甕壺土器・韓式系土器
特記事項	文献1・4



調査地位置図

店舗建設に伴う調査で、古墳時代の竪穴住居23棟以上、土坑、ピットが検出された。また近世鋳物業（辻鋳物師）に伴う廃棄土坑も検出された。

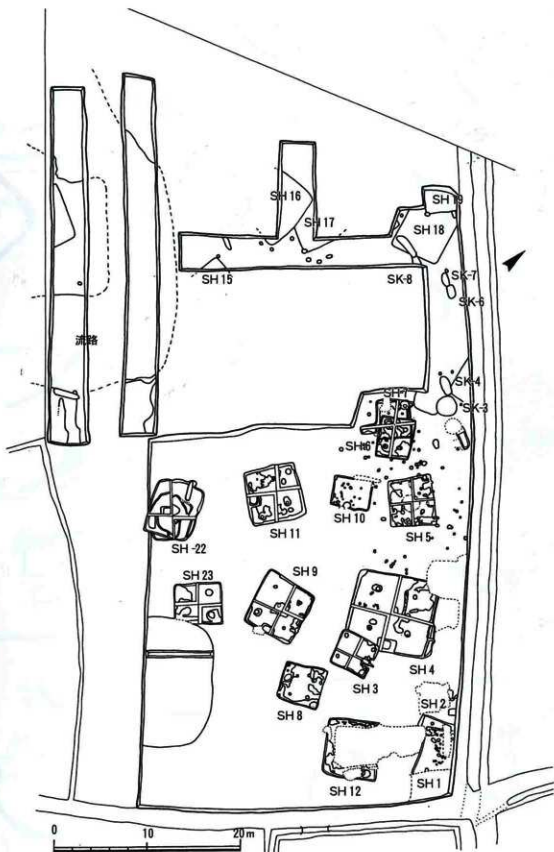
竪穴住居は方形で、一辺4.0～6.0mのものが多く、なかには一辺9mを測る大型のもの（SH4）もある。内部にはカマドを持つものと、持たないものがある。住居内からは韓式系土器、滑石製品・未製品、鉄製品・スラッグ等が出土しており注目される。

土坑群・ピットは調査区の北東端で検出されている。いずれも古墳時代のものである。

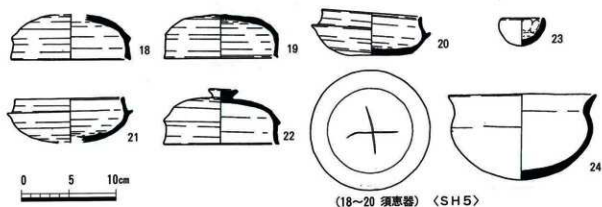
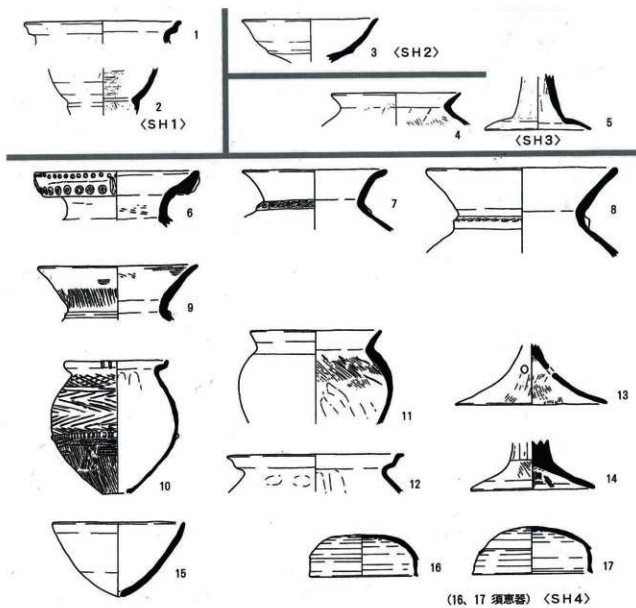
▲写上 竪穴住居群（北西方向よりみる）

◀写下 SH5

5.0×4.6mの竪穴住居で、北西辺および北東辺にカマドをもつ。中央には焼土面がみられる。



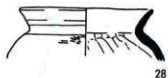
調査地遺構図



出土遺物実測図①



25



28



29



26

(25~27 須恵器 28、29、土師器)

〈SH6〉



27

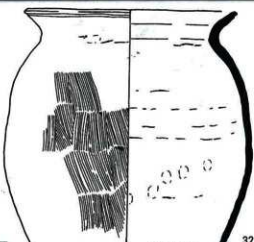


30

(30、31 須恵器
32 土師器)



31



32

〈SH8〉



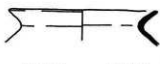
33



34



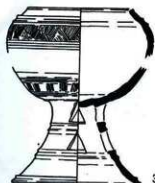
35



36

(土師器)

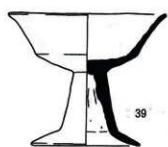
〈SH9〉



37



38



39



40

(37、韓式系土器 38~46、土師器)



42



43



44



45

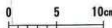


46



41

〈SH11〉





47



48

(土師器) <SH12>



49

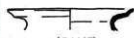


50

<SH13>



51



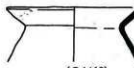
52

<SH17>



53

<SH16>



54

<SH18>

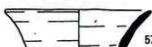
(49~54 土師器)



55



56



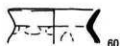
57



58



59



60



61

(55~61 土師器) <SH22>



62



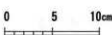
63

(62 韓式系土器
63~69 土師器)

<SH-23>



64



67



65



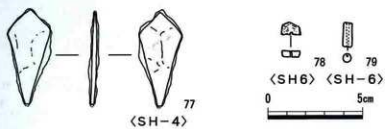
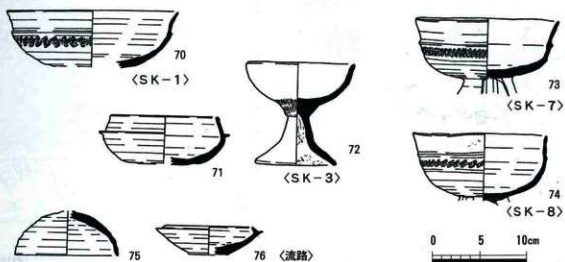
66



68



69

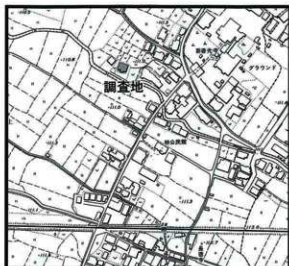


- ①SH 4. 11出土
 ②SH 23 出土
 ③83R003-01 出土
 ④85R003-03 出土
 ⑤85R003-03 出土

4. 林 遺 跡

(85R009-01)

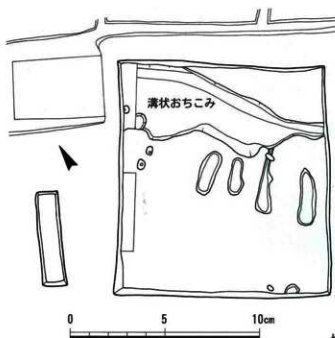
ふりがな	はやしいせき
所在地	栗東町林字寺前167 北緯 35° 01' 32" 東経 136° 01' 30"
コード	321-003
調査期間	1986年10月21日～27日
調査面積	130㎡
調査原因	個人住宅
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	平安時代
主な遺構	土坑
主な遺物	黒色土器・石器
特記事項	



調査地位置図



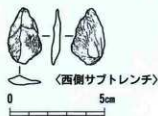
作業風景



調査地遺構図



黒色土器実測図



石器実測図

検出された遺構は土坑、浅い落ち込みである。土坑は2m×0.8mで、断面はU字形である。土師器片が出土しているが、性格は不明である。

5. 蜂 屋 遺 跡

(86R022-01)

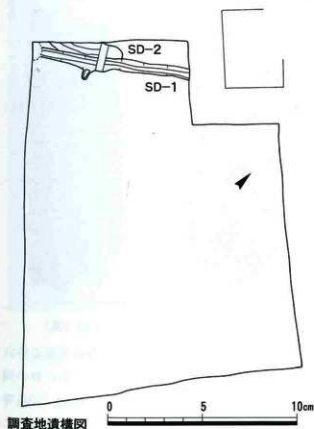
ふりがな	はちやいせき
所在地	栗東町蜂屋字地藏前886
	北緯 35° 01' 43"
	東経 135° 59' 58"
コード	321-022
調査期間	1986年7月8日～7月28日
調査面積	230㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	平井壽一
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	平安時代
主な遺構	溝
主な遺物	須恵器
特記事項	



調査地位置図



調査地全景



調査地遺構図

この調査区では溝2条が検出された。SD-1は幅0.5m、深さ0.15mを測り、埋土は暗褐色土である。SD-2は幅1.3m、深さ0.3～0.8mで、埋土は上層が暗茶褐色粘質土、下層は黒灰色粘土である。SD-2は方形周溝墓の一部である可能性がある。

6. 蜂 屋 遺 跡

(86R022-03)

ふりがな	はちやいせき
	栗東町蜂屋871
所 在 地	北緯 35° 01' 36"
	東経 135° 59' 58"
コ ー ド	321-022
調 査 期 間	1986年 3月10日～26日
調 査 面 積	120㎡
調 査 原 因	個人用住宅
調 査 担 当	大崎隆志
調 査 機 関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主 な 時 代	奈良時代
主 な 遺 構	掘立柱建物・溝
主 な 遺 物	須恵器・土師器・木簡
特 記 事 項	文献 4・5

この調査区からは掘立柱建物1棟、溝、櫓が検出された。掘立柱建物は2間以上×3間で、四面に庇をつける。身舎内部には東柱の痕跡も認められる。溝、櫓列はこの掘立柱建物に関連する区画施設であると考えられる。



調査地 北側



調査地位置図

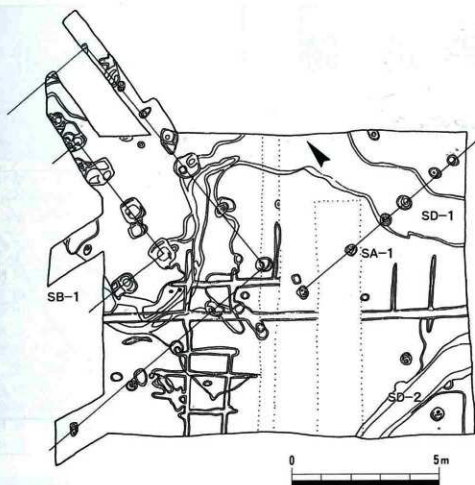


木簡 (表)

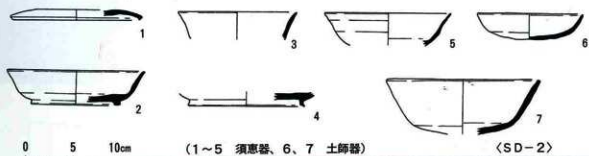


木簡 (裏)

木簡 掘立柱建物 (SB-1) 身舎南東隅の柱穴から出土した。幅3.5cm、厚さ2mmで、曲げ物の側板を転用したものと考えられる。表面に「□長等来」、裏面に「亦二□」と記されている。



調査地遺構図

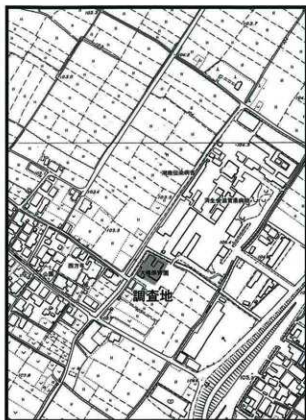


出土遺物実測図

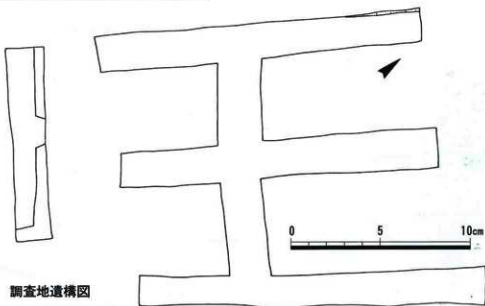
7. 蜂 屋 遺 跡

(86R022-02)

ふりがな	はちやいせき
所在地	栗東町大橋2丁目3-18
	北緯 35° 01' 46"
	東経 136° 00' 11"
コード	321-022
調査期間	1986年4月17日～4月28日
調査面積	618.76㎡
調査原因	保育園運動場造成
調査担当	松村浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	中世
主な遺構	特になし
主な遺物	須恵器・土師器
特記事項	



調査地位置図



調査地遺構図

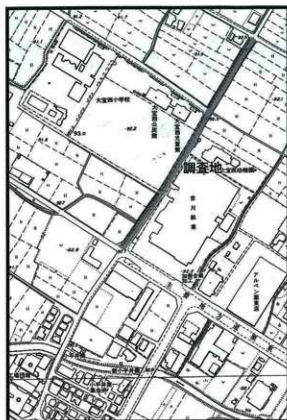


出土土器実測図

8. 靈仙寺遺跡

(86R033-02)

ふりがな	りょうせんじいせき
所在地	栗東町靈仙寺地先 北緯 35° 02' 18" 東経 136° 58' 16"
コード	321-033
調査期間	1986年12月1日～12月20日
調査面積	179.64㎡
調査原因	下水道工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・墓
主な時代	弥生時代
主な遺構	流路
主な遺物	弥生土器
特記事項	



調査地位置図

86R033-01調査区の東に接する道路部分の、下水道工事に伴う調査である。01調査区で出土している南から北へ流れる流路の一部が検出され、弥生土器が出土した。



出土遺物（弥生土器）実測図

9. 靈仙寺遺跡

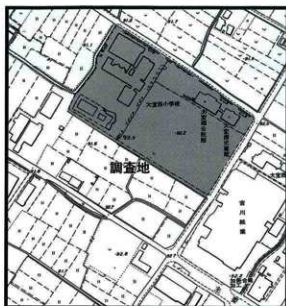
(86R033-01)

ふりがな	りょうせんじいせき
所在地	栗東町靈仙寺字井ノ町166番地 北緯 35° 02' 11" 東経 135° 38' 13"
コード	321-033
調査期間	1986年4月7日～1987年3月31日
調査面積	8,000㎡
調査原因	小学校建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・墓
主な時代	弥生・古墳時代
主な遺構	土坑・流路
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器
特記事項	

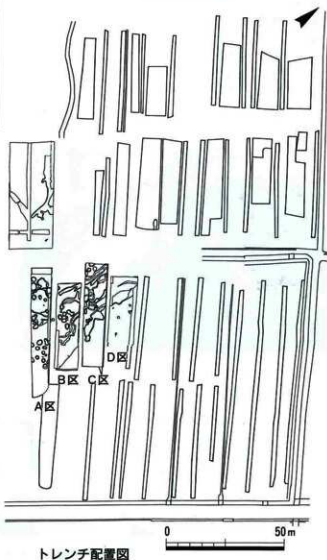


A・B・C調査区では径1.0～3.0mを測る不整形の土坑が約50基検出されている。土坑出土遺物には弥生時代前期の土器のほか、古墳時代前期の土器も含まれている。調査区内を南から北にかけて流れる流路では、落ち際から古墳時代前期の土器が多量に出土している。

また、この他に調査区内からは初期須恵器も出土しており、付近から当該期の遺構が検出される可能性が考えられる。



調査地位置図



トレンチ配置図

9. 靈仙寺遺跡

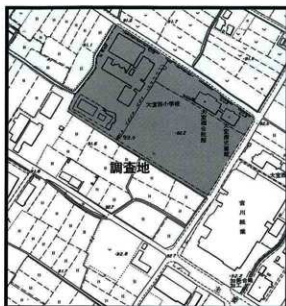
(86R033-01)

ふりがな	りょうせんじいせき
所在地	栗東町靈仙寺字井ノ町166番地 北緯 35° 02' 11" 東経 135° 38' 13"
コード	321-033
調査期間	1986年4月7日～1987年3月31日
調査面積	8,000㎡
調査原因	小学校建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・墓
主な時代	弥生・古墳時代
主な遺構	土坑・流路
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器
特記事項	

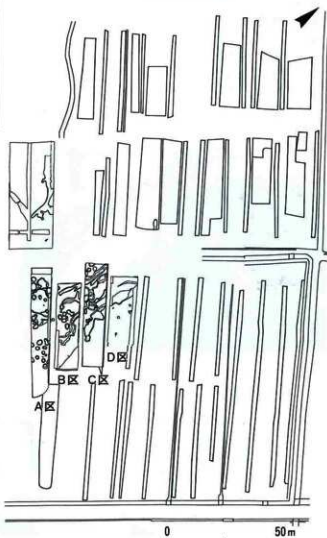


A・B・C調査区では径1.0～3.0mを測る不整形の土坑が約50基検出されている。土坑出土遺物には弥生時代前期の土器のほか、古墳時代前期の土器も含まれている。調査区内を南から北にかけて流れる流路では、落ち際から古墳時代前期の土器が多量に出土している。

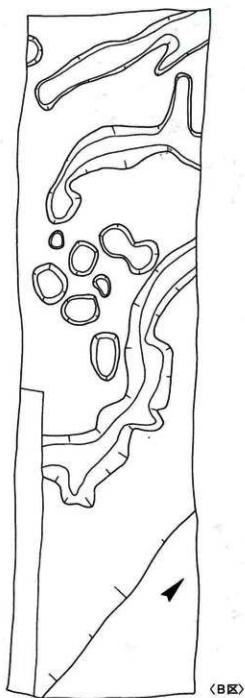
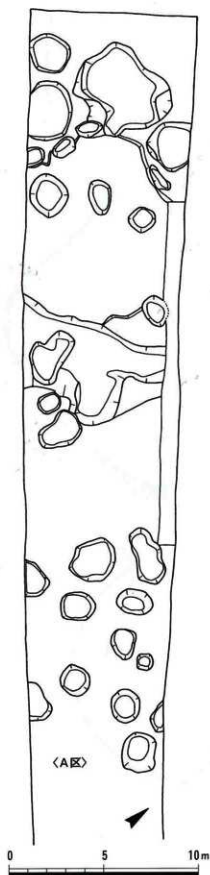
また、この他に調査区内からは初期須恵器も出土しており、付近から当該期の遺構が検出される可能性が考えられる。



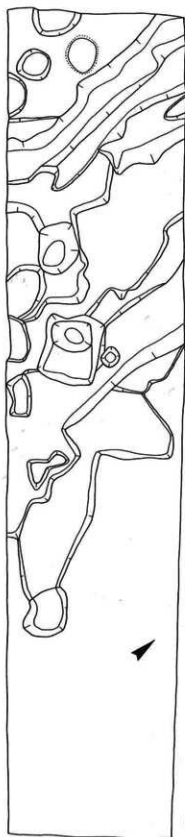
調査地位置図



トレンチ配置図

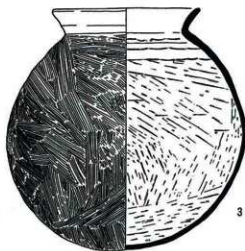
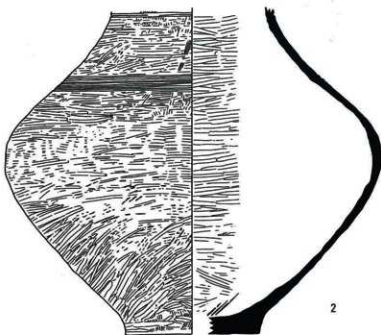


A・B区遺構図および出土遺物



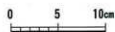
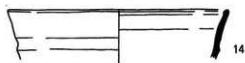
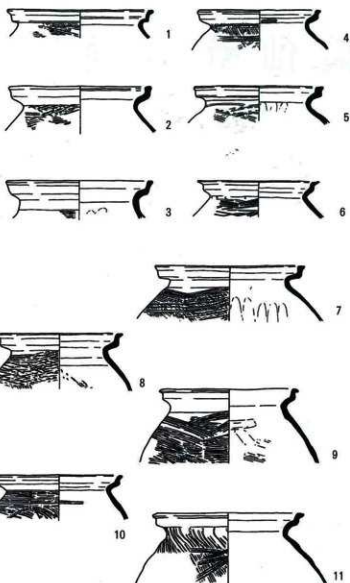
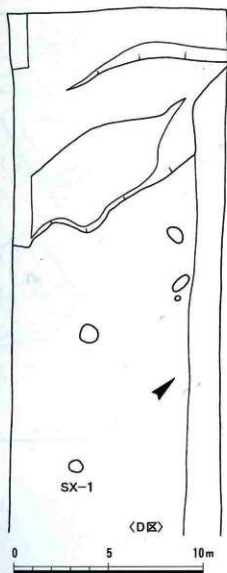
〈C区〉

0 5 10m



0 5 10cm

C区遺構図および出土遺物

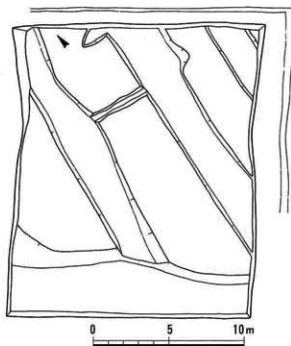


<1~17 D区断面、18 SX-1>
D区遺構図および出土遺物

10. 靈仙寺遺跡

(86R033-03)

ふりがな	りょうせんじいせき
所在地	栗東町靈仙寺350-1 北緯 35° 02' 11" 東経 135° 38' 13"
コード	321-033
調査期間	1987年1月12日～2月7日
調査面積	375㎡
調査原因	店舗建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落・墓
主な時代	弥生時代
主な遺構	溝・土坑
主な遺物	弥生土器
特記事項	4



調査地遺構図

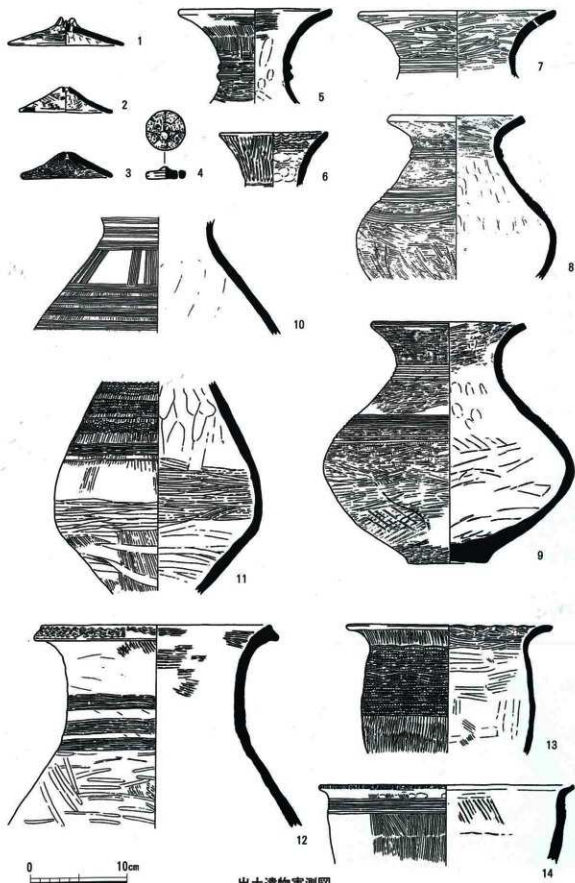


調査地位置図



調査地南半部

調査区内からは、南北方向に延びる溝が検出された。この溝は幅が2.5～3.0m、深さ約0.3mを測る。また調査区中央には溝に先行する流路が流れている。調査区全体から、弥生時代前期から中期の土器、及び木製品が豊富に出土する。



出土遺物実測図

11. 中 沢 遺 跡

(86R034-01)

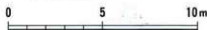
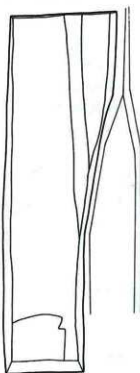
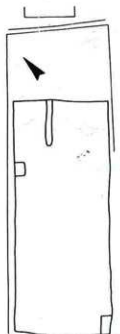
ふりがな	なかざいせき
所在地	栗東町中沢字川原 2-3-4 北緯 35° 01' 33" 東経 135° 58' 43"
コード	321-034
調査期間	1986年10月21日～10月31日
調査面積	155㎡
調査原因	造成工事
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	不明
主な遺構	溝
主な遺物	特になし
特記事項	



調査地位置図



調査地全景



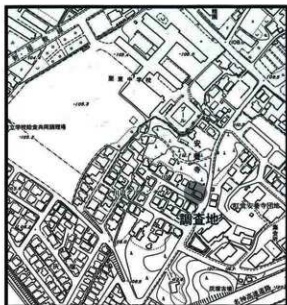
調査地遺構図

調査区内からは栗太郡主条里と同じ方向の溝が1条、検出された。溝の時期は不明である。

12. 安養寺古墳群

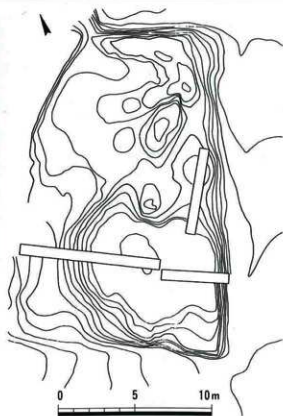
(86R041-01)

ふりがな	あんようじこふんぐん
所在地	栗東町川辺字南平134-1 北緯 35° 00' 51" 東経 135° 59' 56"
コード	321-041
調査期間	1986年6月9日～6月28日
調査面積	約375㎡
調査原因	宅地造成工事
調査担当	平井壽一
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落・墓
主な時代	古墳～平安時代
主な遺構	盛土（古墳ではない）
主な遺物	土師器・須恵器・青磁・陶器
特記事項	



調査地位置図

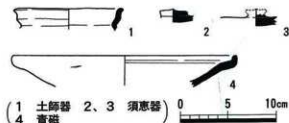
安養寺古墳群の北東端部に位置し、地形の高まりが確認されたので、試掘調査をおこなったところ、後世の盛土であることが判明した。



測量図およびトレンチ配置図



調査地と安養寺山

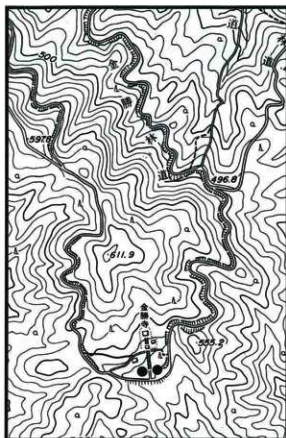


出土遺物実測図

13. 金勝寺遺跡

(86R041-01)

ふりがな	こんしょうじいせき
	栗東町荒張1394
所在地	北緯 34° 57' 06"
	東経 136° 02' 45"
コード	321-071
調査期間	1986年8月21日～8月26日
調査面積	—
調査原因	防火水槽設置
調査担当	近藤広
調査機関	栗東町教育委員会
種別	寺院
主な時代	平安時代
主な遺構	ピット
主な遺物	土師器
特記事項	



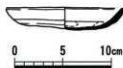
調査地位置図 (1 : 10,000)



参道西側試掘地点



参道東側調査地点



出土土師器実測図

金勝寺山道入口の西側で、防火水槽建設が計画されたため、試掘調査をおこなったところ、溝、柱穴が検出された。このため建設地は、遺構が確認されなかった参道東側に変更になった。試掘調査では、土師器皿が1点出土している。

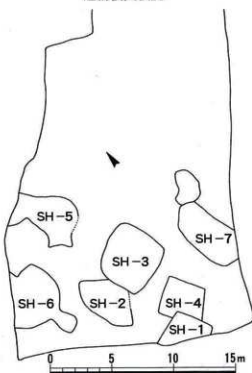
14. 岩 畑 遺 跡

(86R085-01)

ふりがな	いわはたいせき
所在地	栗東町高野字岩畑727 北緯 35° 01' 58" 東経 136° 01' 18"
コード	321-085
調査期間	1986年7月21日～8月1日
調査面積	600㎡
調査原因	公園造成
調査担当	平井壽一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	竪穴住居
主な遺物	須恵器・土師器・金属器・瓦
特記事項	



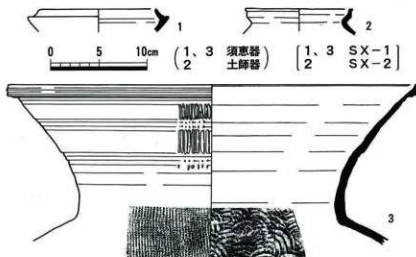
遺構検出状況



この調査区からは7基の竪穴住居が検出された。公園造成工事に伴う調査であったため、掘り込みは行われなかった。



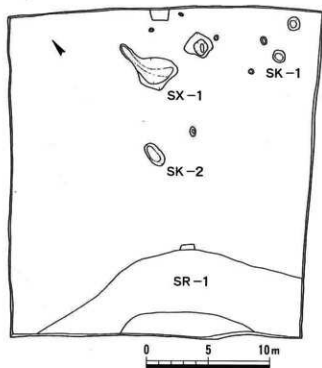
調査地位置図



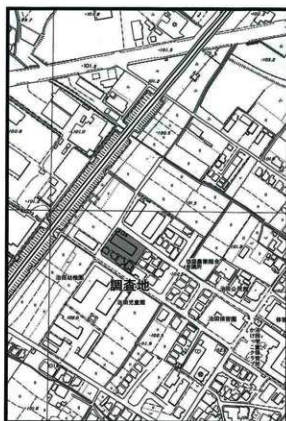
15. 坊 袋 遺 跡

(86R090-01)

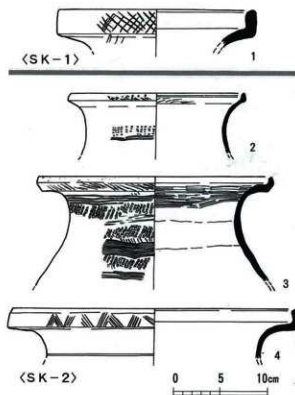
ふりがな	ほうぶくろいせき
所在地	栗東町坊袋字杉ノ木172 北緯 35° 01' 01" 東経 135° 59' 05"
コード	321-090
調査期間	1986年4月17日～10月8日
調査面積	約600㎡
調査原因	資材置き場
調査担当	近藤広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	弥生時代
主な遺構	流路・溝・土坑
主な遺物	弥生土器・石鏃・貨銭
特記事項	文献3・4



調査地遺構図



調査地位置図



出土遺物実測図



坊袋遺跡全景

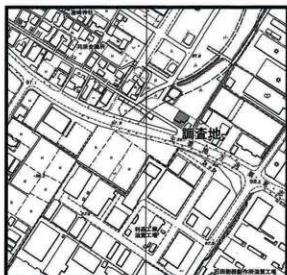
この調査では、流路、土坑、ピットが出土した。土坑は3基確認されており、弥生時代中期後半の土器が出土している。流路は調査区南東端に屈曲して延びる。幅35～5.2m、深さ1.0m以上である。近世以降に形成された流路の可能性はある。

16. 野尻遺跡

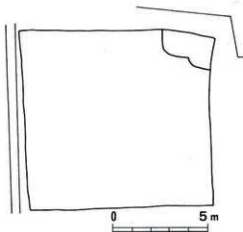
(86R088-01)

ふりがな	のじりいせき
所在地	栗東町荻原字砂田8-5
	北緯 35° 01' 46"
	東経 135° 59' 03"
コード	321-088
調査期間	1986年11月4日～11月8日
調査面積	100㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村浩
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	現代
主な遺構	攪乱
主な遺物	なし
特記事項	

この調査では、明確な遺構・遺物は発見されなかった。



調査地位置図

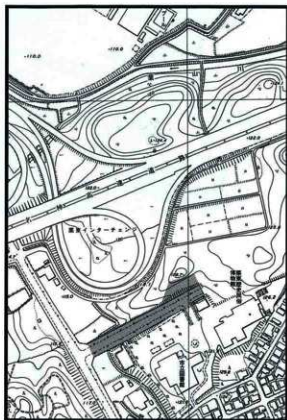


調査地遺構図

17. 佐世川古墳

(86R023-01)

ふりがな	させがわこふん
所在地	栗東町小野字谷口 北緯 35° 00' 53" 東経 136° 00' 36"
コード	321-023
調査期間	1986年8月5日～8月11日
調査面積	—
調査原因	造成工事
調査担当	平井壽一
調査機関	栗東町教育委員会
種別	墓
主な時代	
主な遺構	自然地形
主な遺物	特になし
特記事項	



調査地位置図



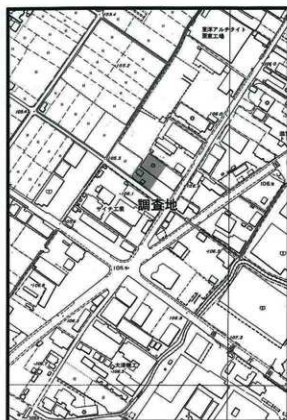
トレンチ図

佐世川古墳の南に隣接する地点で、造成工事予定地内にみられた高まりを試掘調査した。結果は、人工的な盛土や土坑、遺物等も確認されず、高まりは自然地形と判断された。

18. 高野遺跡

(86R092-03)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町出庭字上宮ヶ森555-1 北緯 35° 02' 00" 東経 136° 00' 05"
コード	321-092
調査期間	1986年6月2日～8月3日
調査面積	約1,100㎡
調査原因	倉庫・工場建設
調査担当	近藤広
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	溝・土坑・畦畔状遺構・ピット
主な遺物	須恵器・土師器・石器・桃種・鉄鍬
特記事項	



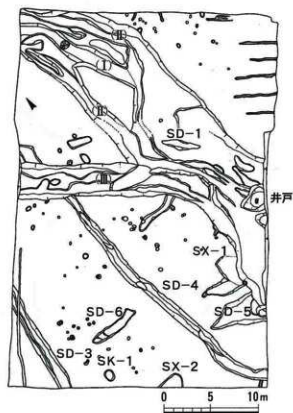
調査地位置図



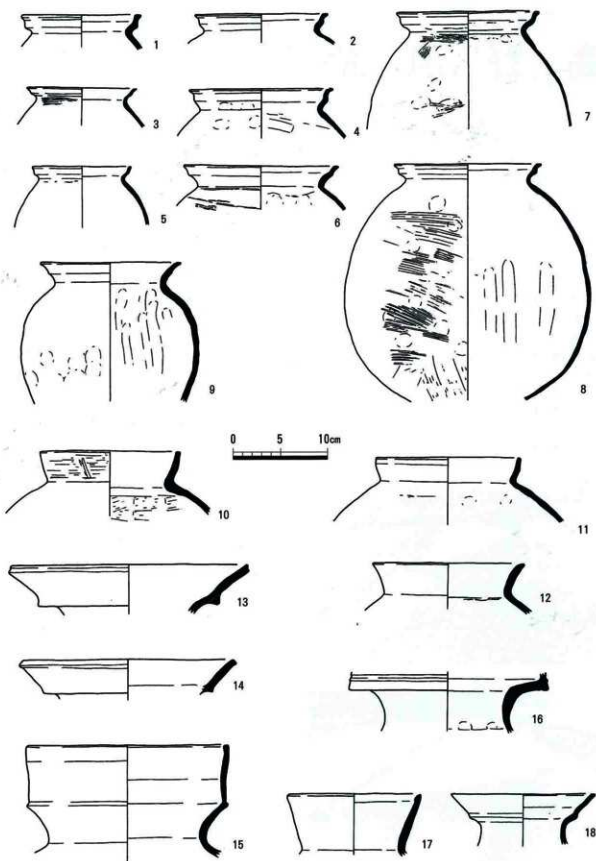
調査地北半部



調査地西半部



調査地遺構図



出土遺物実測図 (SD-1)



19



20



21



22



25



23



24



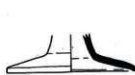
26



27



28



29



30



31



32

<19~39 SD-1>



33



34



35

(34、35 須恵器)



36

<SD-2>



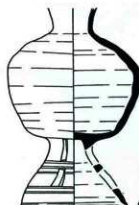
37



39



40

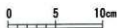


41



38

(土師器) <井戸>



(39~41 須恵器) <39~41 SD-5>

出土遺物実測図

19. 高野遺跡

(86R092-01)

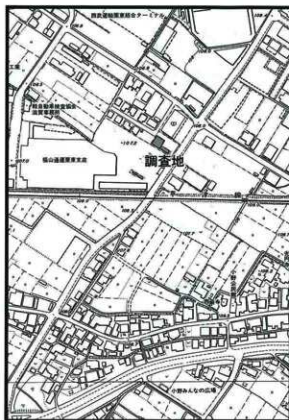
ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町大橋635-5 北緯 35° 01' 29" 東経 136° 00' 03"
コード	321-092
調査期間	1986年3月15日～4月8日
調査面積	200㎡
調査原因	事務所・工場建設
調査担当	近藤 広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳・奈良時代
主な遺構	掘立柱建物・溝・竪穴住居・柵
主な遺物	須恵器・土師器・滑石製紡錘車
特記事項	



B区全景



A区全景

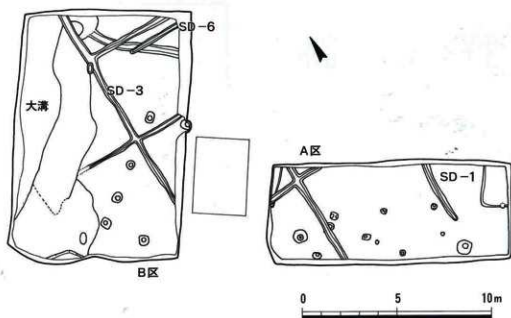


調査地位位置図

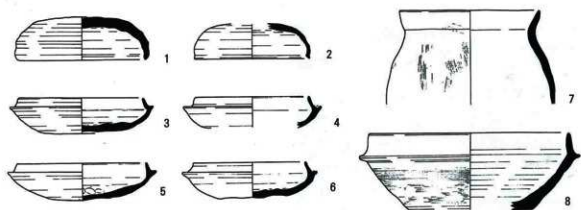
この調査区は高野遺跡の西端にあたる。遺跡の西に接する手原遺跡は古代寺院や官衙などの性格が考えられている。手原遺跡でも高野遺跡よりの東端部では、1986年度の調査などで、奈良時代の掘立柱建物などが検出され、当時の集落域であったと予想される。

検出された遺構は大溝、溝、掘立柱建物である。調査区の北西端では幅4m以上の大溝肩部が検出され、6世紀の須恵器等が出土した。掘立柱建物は2棟検出された。いずれも北を約40°西に振る方位の建物である。さらに大溝および掘立柱建物埋没後には手原遺跡一帯で見られる正南北方向地割りに添った小溝も検出され、奈良時代の須恵器が出土している。

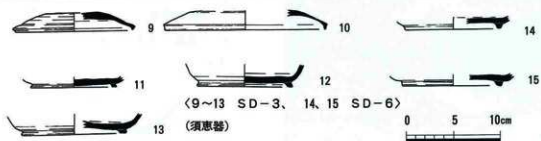
この調査では手原遺跡を中心に広がる集落の形成過程を知る上で貴重な成果が得られた。



調査地遺構図



(1~6、8 須恵器、7 土師器) <1~8 大溝>



<9~13 SD-3、14、15 SD-6>

(須恵器)

出土遺物実測図

20. 高野遺跡

(86R092-04)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字北さるがう622他 北緯 35° 01' 55" 東経 136° 00' 58"
コード	321-092
調査期間	1986年8月20日～10月21日
調査面積	約850
調査原因	公民館建設
調査担当	平井壽一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳・平安時代
主な遺構	掘立柱建物・溝・流路・土坑
主な遺物	瓦・土器・鉄器・土師器・銅器・金・銀・鉛・人骨・7(イ)環・スリッパ
特記事項	文献4



調査地位置図



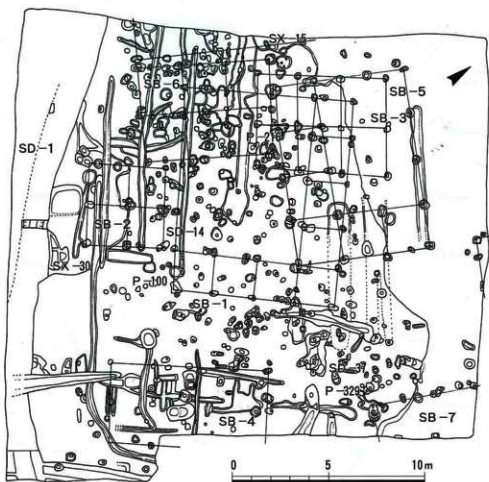
調査地全景



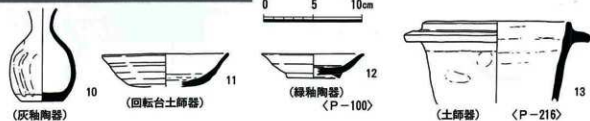
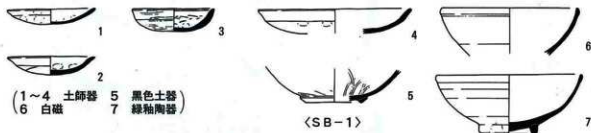
S X30付近

平安後期～鎌倉時代の掘立柱建物7棟以上、溝、土坑等が検出された。掘立柱建物は重複関係や棟方位のパターンから、4期程度の変遷が認められる。このうちSB-1は5間×4間で、2間×2間のSB-2が伴う可能性がある。SB-5は4間×3間で、棟方位が条里方向から西に振っている。これにはその東側にあるSB-7が伴う可能性がある。

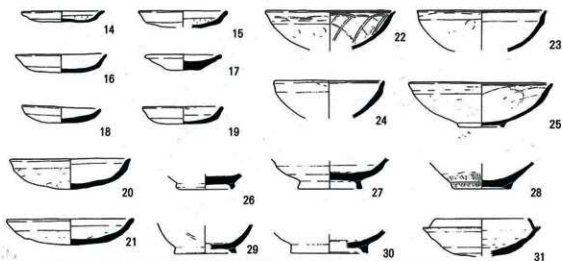
今回の調査では中世の遺物のほかに、周辺地区の遺構に関連して、古墳時代の須恵器も出土する。



調査地遺構図



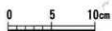
柱穴出土遺物実測図



(14~21 土師器 22~25 黒色土器 26、27 灰釉陶器 28 白磁 29、30 緑釉陶器) <SD-1>



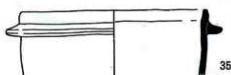
32



(土師器)

<SD-37>

34



35



36

<35~37 SD-40>



37

(35、36 土師器
37 灰釉陶器)



33

(緑釉陶器)

<SX-15>



38



39



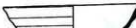
40



41



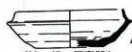
42



43

<SX-30>

(38、39 土師器
40、41 黒色土器
42 緑釉陶器
43 灰釉陶器)



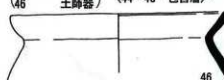
44



45

(44、45 須恵器
46 土師器)

<44~46 包含層>



46

出土遺物実測図

21. 高野遺跡

(86R092-04)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字北さるがう622他 北緯 35° 01' 57" 東経 136° 00' 58"
コード	321-092
調査期間	1986年8月20日～10月21日
調査面積	400㎡
調査原因	道路建設
調査担当	平井壽一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳・平安時代
主な遺構	溝・土坑・ピット
主な遺物	土師器
特記事項	



調査地全景



調査地位置図

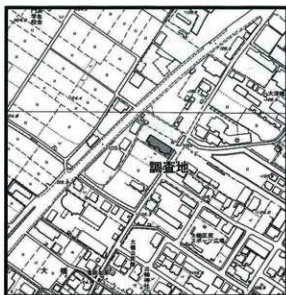


調査地遺構図

22. 高野遺跡

(86R092-06)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町大橋一町田114他 北緯 35° 01' 50" 東経 136° 59' 58"
コード	321-092
調査期間	1986年8月30日～9月29日
調査面積	320㎡
調査原因	共同住宅建設
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	奈良～平安時代
主な遺構	掘立柱建物・溝・櫓
主な遺物	須恵器・近世陶磁器
特記事項	



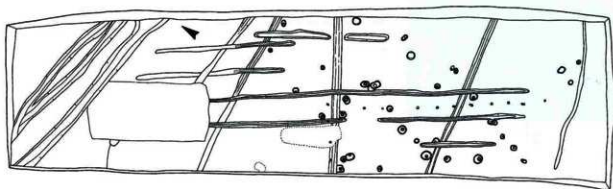
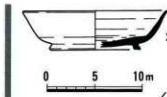
調査地位置図



調査地全景



出土遺物実測図



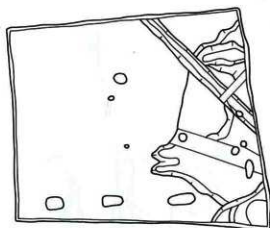
調査地遺構図

0 5 10m

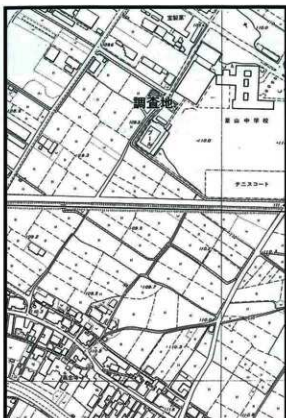
23. 高野遺跡

(86R092-09)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町六地藏字目取1052-3 北緯 35° 01' 31" 東経 136° 00' 56"
コード	321-092
調査期間	1987年2月23日～2月26日
調査面積	100㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	平安時代
主な遺構	溝・不整形落ち込み
主な遺物	土師器・灰釉陶器
特記事項	



調査地遺構図



調査地位置図



調査地全景

この調査では、不整形落ち込みとこれを切る溝、およびピットが検出された。不整形落ち込み上層では、灰釉陶器が出土している。ピットからは土師器小片が出土しているのみである。

24. 高野遺跡

(86R092-07)

ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町大橋字奥田 4-8-3 北緯 35° 01' 32" 東経 136° 00' 03"
コード	321-092
調査期間	1986年 8月28日～9月28日
調査面積	525㎡
調査原因	倉庫建設
調査担当	近藤 広
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代・中世
主な遺構	掘立柱建物・土坑・ピット
主な遺物	須恵器・土師器・黒色土器・古式土師器・石匙
特記事項	

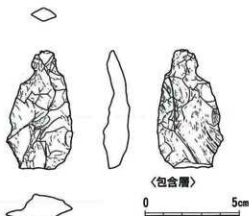
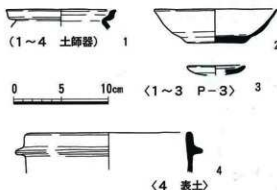


調査地全景

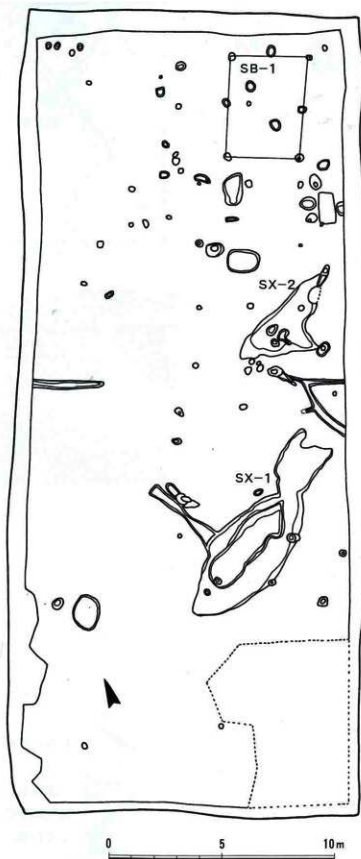
この調査区では掘立柱建物、土坑、ピットが出土した。掘立柱建物は2間×1間で、柱穴から出土した遺物より鎌倉時代の建物と考えられる。SX-1、2は鎌倉時代のピットに先行する不整形の土坑で、炭化物や焼土を含む。この調査区からはほかに、受け口状口縁甕、石匙などが出土している。



調査地遺構図



出土遺物実測図

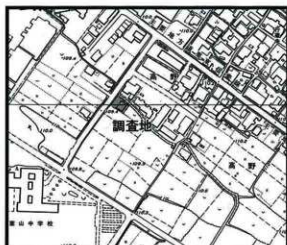


調査地遺構図

25. 高野遺跡

(86R092-08)

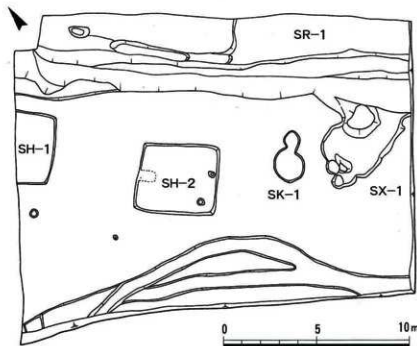
ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字イバ立188-1 北緯 35° 01' 35" 東経 136° 01' 05"
コード	321-092
調査期間	1986年10月14日～11月15日
調査面積	270㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	近藤 広
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	流路・溝・竪穴住居
主な遺物	須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石
特記事項	



調査地位置図



調査地全景



調査地遺構図

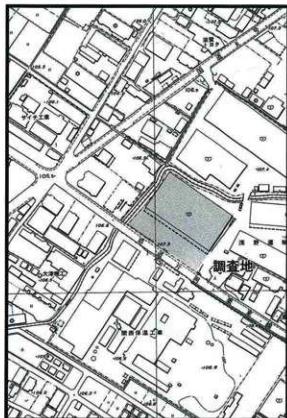
この調査区は、1983年度に古墳時代の住居がまとも出土した地点の北側約100mの地点である。調査では竪穴住居2棟、土坑、流路が検出された。竪穴住居(SH-1)は一辺約3.7mで、東南辺に焼土がみられる。SH-2は規模が3.7×4.0m、西側壁際にカマドがみられるもので、古墳時代後期の住居である。

流路からは古墳時代前期～平安時代にかけての土器が多量に出土している。

26. 高野遺跡

(86R092-10)

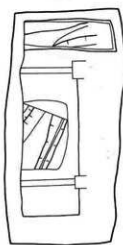
ふりがな	たかのいせき
所在地	栗東町高野字下北市253
	北緯 35° 01' 56"
	東経 136° 00' 37"
コード	321-092
調査期間	1987年3月17日～4月16日
調査面積	130㎡
調査原因	倉庫建設
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	流路・溝
主な遺物	特になし
特記事項	



調査地位置図



調査地北側遺構



調査地遺構図

27. 日向山古墳 龍王古墳

(86R016-01)
(86R055-01)

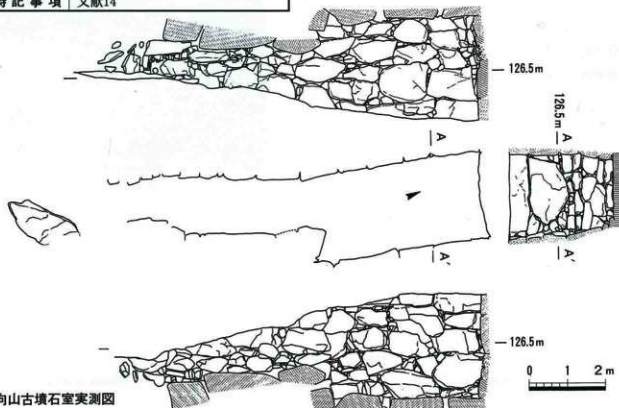
ふりがな	にっこうやまこふん・りゅうおうこふん
所在地	栗東町六地藏・伊勢落、上砥山
	北緯 35° 00' 59" (016)
	東経 136° 01' 27" (016)
	北緯 35° 60' 33" (055)
	東経 136° 01' 15" (055)
	コード 321-016・055
調査期間	1986年7月30日～8月28日
調査面積	—
調査原因	測量調査
調査担当	小笠原好彦・松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団 滋賀大学教育学部歴史研究室考古学ゼミ
種別	墓
主な時代	古墳時代
主な遺構	円墳
主な遺物	なし
特記事項	文献14



日向山古墳



龍王古墳

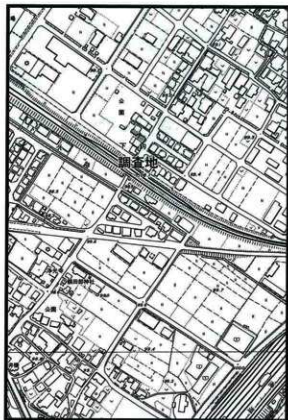


日向山古墳石室実測図

28. 下 鈎 遺 跡

(86R095-05)

ふりがな	しもまがりいせき
所在地	栗東町下鈎字高田718-4 北緯 35° 01' 28" 東経135° 59' 09"
コード	321-095
調査期間	1986年7月16日～7月18日
調査面積	60㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	溝
主な遺物	須恵器・土師器
特記事項	

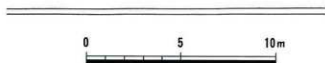
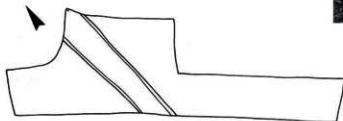


調査地位置図

この調査区では幅80cmで、南北方向の溝が検出された。埋土中からは古墳時代と考えられる須恵器・土師器片が出土している。



溝検出状況

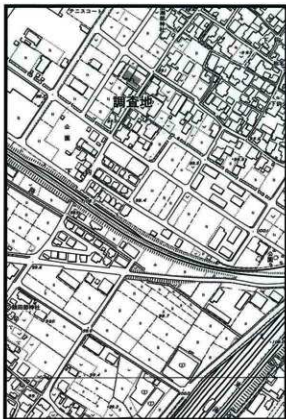


調査地遺構図

29. 下 鈎 遺 跡

(86R095-06)

ふりがな	しもがかりいせき
所在地	栗東町下鈎709 北緯 35° 01' 32" 東経 135° 59' 12"
コード	321-095
調査期間	1986年7月4日～7月19日
調査面積	80㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	弥生時代
主な遺構	掘立柱建物・土坑
主な遺物	弥生土器
特記事項	



調査地位置図

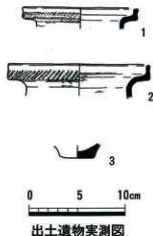


調査地全景



調査地遺構図

この調査区では、掘立柱建物・土坑状遺構が検出された。掘立柱建物は2間×3間以上で、柱穴出土遺物より中世のものと考えられる。土坑状遺構（SX-1）からは、弥生時代中期の土器がまとまって出土している。



出土遺物実測図

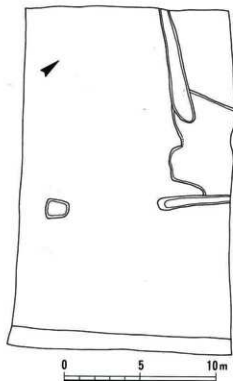
30. 下 鈎 遺 跡

(86R095-07)

ふりがな	しもがかりいせき
所在地	栗東町下鈎字挾443-3
	北緯 35° 01' 19"
	東経 135° 59' 08"
コード	321-095
調査期間	1987年2月5日～2月6日
調査面積	80㎡
調査原因	個人用住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	弥生時代・中世
主な遺構	溝・土坑・ピット
主な遺物	土師器・黒色土器
特記事項	



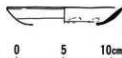
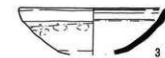
調査地位置図



調査地遺構図



調査地全景



出土遺物実測図

1.32 小 柿 遺 跡

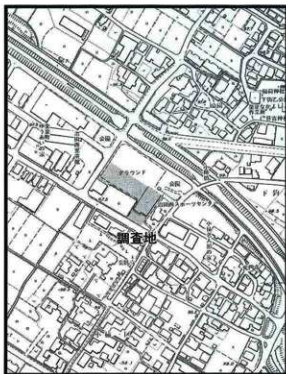
(86R100-01,02)

ふりがな	おがきいせき
所在地	栗東町小柿285-1・286-1 ほか 北緯 35° 01' 21" 東経 135° 58' 53"
コード	321-100
調査期間	1986年6月12日～8月15日
調査面積	600㎡
調査原因	体育館・公園建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	
主な遺構	なし
主な遺物	なし
特記事項	

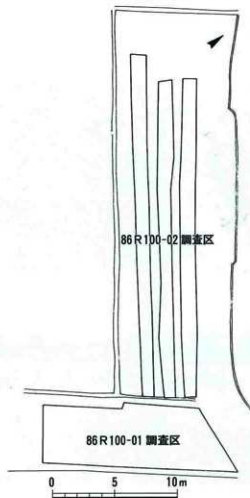


調査地全景

この調査区は葉山川の左岸に位置している。
スポーツセンターおよび公園建設に伴い発掘調査が実施されたが、顕著な遺構・遺物は発見されなかった。



調査地位置図



33. 岡 遺 跡

(86R104-01)

ふりがな	おかいせき
所在地	栗東町岡・目川・下戸山地先 北緯 35° 00' 26" 東経 135° 59' 20"
コード	321-104
調査期間	1986年10月31日～1987年10月31日
調査面積	14,000㎡
調査原因	圃場整備
調査担当	平井壽一・近藤 広
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	官衙
主な時代	古墳時代～中世
主な遺構	古墳・掘立柱建物・堀・溝
主な遺物	須恵器・土師器・灰釉陶器・緑釉陶器・青磁・石帯・スラッグ
特記事項	文献1・2・4



調査地位置図 (1:20000)



石帯出土状況



調査風景



現地説明会風景



倉庫群



参 考 文 献

1. 栗東町史編さん委員会『栗東の歴史』第1巻 古代・中世編 1988
2. 栗東町教育委員会 財団法人栗東市文化体育振興事業団 『岡遺跡発掘調査報告書 1次・2次・3次調査』 1990
3. 近藤広「坊袋遺跡出土の弥生式土器一文様の分析を中心に」『滋賀文化財だより』№164 1991
4. 栗東町史編さん委員会『栗東の歴史』第4巻 資料編Ⅰ 1994
5. 大崎隆志「滋賀・蜂屋遺跡」『木簡研究』第23号 木簡学会 2001

発行日 2003 (平成15) 年3月31日

1986 年度
栗東町埋蔵文化財
発掘調査資料集

編集・発行 財団法人栗東市文化体育振興事業団
文化財センター
〒520-3011
滋賀県栗東市下戸山47番地
栗東市出土文化財センター内
TEL. 077-553-3359
FAX. 077-553-3514

印刷・製本 株式会社スマイ印刷工業
〒520-3014
滋賀県栗東市川辺568-2
TEL. 077-552-1045代
FAX. 077-552-0890